

11月5日は「津波防災の日」「世界津波の日」

・津波「TSUNAMI」は「地震などによって引き起こされる巨大な波」を指す世界共通語です。

○津波防災の日 世界津波の日

平成23年の東日本大震災では、東北地方の太平洋沿岸を襲った津波により多くの人命が失われました。これを受けて、津波から国民の生命を守ることを目的に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、その中で毎年11月5日が「**津波防災の日**」として決められています。

11月5日は、江戸時代(1854年)に中部地方から九州地方の太平洋沿岸に大きな津波被害をもたらし、「稲むらの火」※のモデルにもなった**安政南海地震**の発生した日に因んだものです。

※「稲むらの火」とは・・・1854年11月5日、安政南海地震により紀州藩広村(現在の和歌山広川町)を津波が襲った時に、濱口梧陵は、収穫したばかりの稲を積み重ねた「稲むら」に火を放ちました。この火を目標に、暗闇の中で逃げ遅れていた村人たちを高台へと誘導し、津波から命を守ることができました(何よりも命が大切(**ぬちどう宝**))ということを教えています)。

○日頃から津波に備える

地震や津波等の自然災害は、いつ発生しても不思議ではありません。いつ津波が発生しても身を守ることができるように、日頃から色々な場面を考えて備えておきましょう！

☑危険な場所を確認

自宅や学校、職場周辺などで津波に襲われるおそれのある場所をハザードマップや周囲の地形から確認しておきましょう。海から離れていても、川に沿って津波が襲ってくることもあります。

☑避難場所を確認

津波避難場所や避難ビルがどこにあるか、また避難経路などを周りの人と確認しておきましょう。避難場所は1ヶ所だけでなく、さらに高い場所にあるところも調べておきましょう。

☑訓練に参加しよう

実際に避難経路をたどってみるなど、積極的に訓練に参加しましょう。



○「津波防災の日」「世界津波の日」の取り組みの一環として、緊急地震速報の訓練を実施します。

地震による揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。内閣府、消防庁及び気象庁では、**11月5日(木)10時00分頃**に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。実際の地震が起きた際に適切な防災対応ができるように、この機会に身を守る行動を体験してみましょう。詳細は下記 URL をご確認ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/eew/kunren/kunren.html>



地震に関する情報は
沖縄気象台ホームページまで

<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/index.html>

沖縄気象台

Q 検索

